

令和6年度企業版ふるさと納税活用事業実績

事業名	ひとづくり推進事業
事業費	22,658,000円
取組内容	①対話プラス 小学生と高校生、中高生と大人による1対1の対話を通して、「これまでの人生と、これからどうありたいか」自分自身の生き方について考えることで、自分の「心に火を灯す」授業を実施した。 ②高校生期のライフキャリア教育 ライフキャリア教育の推進のため、授業支援の他、学校でも家庭でもない第三の居場所（サードプレイス）の開設、多様なロールモデルとの出会いや活動支援を実施した。 ③JFAこころのプロジェクト「夢の教室」 日本サッカー協会に所属する元アスリートや現役アスリートが自分の夢を実現するためにどんな事をしたか、また挫折や悩んだ時にどのようにその苦勞を乗り越えたかについて、小学生に伝える授業を実施した。 ④益田版・職場体験 単なる仕事の体験ではなく、そこで働く「ひと」や「生き方」との出会いを大切にしたい職場体験。「どんな想いで日々働いているのか」や、働く大人のひととに触れることにより、自分は職業を通してどんな「ひと」になりたいかといった考える機会として職場体験を実施した。 ⑤益田市未来の担い手育成コンソーシアム 行政、教育機関、事業者などの関係機関が連携して、益田市が取り組むライフキャリア教育を推進する。令和6年度は39の教育プログラムを実施した。    【対話プラス】 【夢の教室】 【益田版・職場体験】
成果	○「益田市には魅力的な大人が多い」と答えた新成人の割合 目標：80% / 実績：81.5% ※R5実績：81.0%、R4：93.5% ○益田市で地域活動をした県外の若者の延べ人数と満足度 目標：300人、80% / 実績：253人、82.1% ○「将来、益田に住みたい」と答えた新成人の割合 目標：80% / 実績：74.6% ※R5実績：71.6%、R4：80.9% ○益田市で一週間程度、インターンシップや体験活動した若者の延べ人数と満足度 目標：30人、80% / 23人、100% ○ライフキャリア教育に関わる大人の数 目標：1,000人 / 実績4,072人 ○ライフキャリア教育に関わる市外の若者の数 目標：3人 / 実績：3人 ○その他、事業実績（定量的効果。（ ）内は前年度実績）。 ①対話プラス ・14（14）小学校、9（9）中学校、5（4）高校で実施 ・対話した人数 1,427人（1,424人） ②高校生期のライフキャリア教育 ・各校での授業実施コマ数 80（150）コマ ・高校生の地域活動の伴走支援 37（20）プロジェクト ③JFAこころのプロジェクト「夢の教室」 ・実施校 12（11）校 ・児童数 352（396）名
今後の事業展開	意識変容に関する指標（下線部分）について、前年度は減少傾向にあったが、今年度は増加する結果となった。今後、量的な指標は維持しつつ、意識変容に効果的な事業実施を検討し、いかに子どもたちの生きる力の育成や、人材の還流、持続可能な地域づくりにつながったかという点に着目し、事業展開及び効果測定を図りたい。

令和6年度企業版ふるさと納税活用事業実績

事業名	市内高校連携推進事業
事業費	4,000,000円
取組内容	【市内4高校の特色を活かした高校魅力化の取組】 ①高度理数系人材育成支援業務委託 （受託者：益田高等学校） 1）「益田さいえんすたうん」（小中学生向け実験教室） 2）「サイエンスキャンプ」（大学教員による中学生向け実験教室） 3）出前実験・理科読を楽しむ会（小学生向け実験教室） ②農業・モノづくり人材育成業務委託 （受託者：益田翔陽高等学校） 1）GAP米（田植え・稲刈り）体験など「産業の魅力発信」 2）「地産・地消の推進」を目的とした農産物・加工品の地域販売実習など 3）農業機械整備実技指導など「地域連携による技術実証及び技術活用」 4）林業作業体験など「体験・交流による地元就職意識向上の取組」 ③私立高等学校魅力化活動補助金 益田市の私立高校において、地域活動や地域住民との交流を実施することで、益田市と関わり続ける人材（関係人口）の確保につながった。 （益田東高等学校） 小中学生との交流機会（男女サッカー）の創出を目的とした施設整備を実施した。年間96回（月・火・水曜日の夜間と土曜日の午前）の合同練習を通じて市内小中学生との交流が図られた。 （明誠高等学校） 通信課程の生徒を対象にスタディツアーを実施し、参加できなかった生徒に対する情報共有等も実施した。参加された生徒に対し、市内の自然、文化、歴史を体験のできる取組を実施する中で、地域の方々との交流も図られた。
成果	【市内4高校の特色を活かした高校魅力化の取組】 ①高度理数系人材育成支援業務委託：3事業 若者（保小中高）参加数（延べ数）1,240人 ②農業・モノづくり人材育成業務委託 若者（保小中高）参加数（延べ数）746人 1）産業の魅力発信：10事業（14回） 2）地産地消推進：1事業（4回） 3）地域連携による技術実証及び技術活用：3事業（3回） 4）体験・交流による地元就職意識向上：9事業（10回） ③私立高等学校魅力化活動補助金：2事業 1）益田東高等学校 若者（保小中高）参加数（延べ数）5,644人 2）明誠高等学校 若者（保小中高）参加数（延べ数）652人
今後の事業展開	中高一貫教育に接続する取組の一つとし、引き続き、市内の高校の魅力化に資する取組に対する支援を行い、未来を担う子どもたちの育成を図るとともに、卒業後も益田市と関わり続ける人材のさらなる増加につなげる。